

## 石グループ 第2号

### 笏谷石とは

笏谷石(しゃくだにいし、またはしゃくたにいし)は、今から1700万年前に火山が噴火し、降り積もった灰が長い時間をかけて固まってできた「かざんれきぎょうかいがん火山礫凝灰岩あすわやま」です。福井県足羽山で採れた石で、きれいな青色をしており、柔らかいため加工がしやすいという特徴があります。江戸時代に北前船で日本中に運ばれ、寿都町にも福井県から運ばれてきたと考えられる笏谷石が、様々な形で残されています。

### 寿都石とは

寿都町に残る笏谷石を探すうちに、やや黄色みのある石のベースに、黒く小さな丸石が入っている石が、町の随所で使われていることに気がきました。産地や採石場は調査中ですが、町中で見かけるため、寿都町内で採石し、身近な石として利用していたと考えられます。このことから、お宝勉強会では「寿都石(仮称)」と名付け、調査を始めました。今年度、地質の専門家であるのうじょうあゆむ能條歩先生から「すいれいはさいがん水冷破碎岩だ」と思います。ブラタモリでよく出てくるやつ。海底火山噴出物です」と教えていただきました。

### 寿都でみつけた 笏谷石



笏谷石のできた矢追の用水路



笏谷石のできた美谷稲荷の石灯籠、狛犬の土台は寿都石



美谷稲荷の東石

### 寿都オリジナル? 寿都石(仮)



ふくろま寿都石の袋澗(鯨漁場での利用跡か?)



びや美谷稲荷の建つ場所は、寿都石の地質が剥き出し



たねまえ種前で見つけた美しい六角形の石垣(この付近に採石場が?)

2021年2月現在、寿都町内での石調査は全114件で、うち笏谷石が60件、寿都石42件、その他が12件となっています。種前では、寿都石の採石場かも?という情報もいただくことができました!雪がとけたら、採石場跡地への調査を予定しています。地元の方は「美谷石」と呼んでいました。今後の調査が楽しみです。

笏谷石、寿都石に関するみなさまからの発見・報告をお待ちしております!!